

204 水稻の初期窒素吸収に関わる要因は何か？

生産生態制御学講座 栽培土壌学分野 佐藤 友紀



目的

鶴岡市の地形によって異なる気象条件が、水稻生育初期の窒素吸収量に与える影響を明らかにすること

材料と方法

(供試品種) 水稻品種「はえぬき」(4本/株)

(施肥量) $N \cdot P_2O_5 \cdot K_2O = 6g/m^2$

(測定項目) 窒素吸収量、気温、風速、日射量、雨量

結果

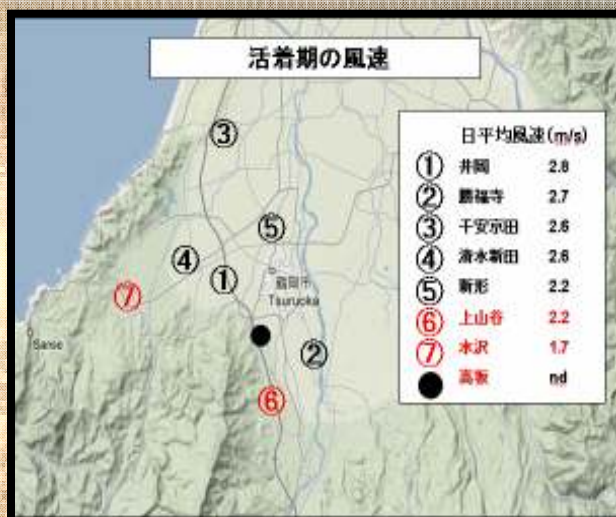
各期間の気象条件の平均値と移植後28日目の窒素吸収量との相関係数

	平均気温	最高気温	最低気温	風速	日射量	日積算雨量
活着期	-0.36	0.51	-0.69*	-0.84**	0.03	0.01
分けつ期	-0.26	0.39	-0.71*	-0.90**	-0.01	-0.23



最低気温が高いor風速が強い圃場 → 窒素吸収量が少なくなる。

活着期の最低気温・風速から移植後28日目の窒素吸収量の予測が可能。



平野の圃場: 最低気温・風速が高い → 窒素吸収量が少ない

山際の圃場: 最低気温・風速が低い → 窒素吸収量が多い

周囲の地形によって栽培管理を変えることが必要。